

(別紙4(2))

事業所名 プルミエールさなげ

作成日: 令和5年5月2日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10 48 49	昨年度はコロナ前のイベント(季節の行事等)の適切な再開を目標にして取組み、成果を出した。 そんな中、職員から「日々行っているレクリエーションの内容がマンネリ化の傾向にある」との意見があった。 今年度は、日々のレクリエーションの充実をに向けた取組が必要と判断し、昨年度から再開したイベントの内容を活用できないか検討した。	日々のレクリエーションとして季節のイベントやさなげの敷地内に咲く四季の花々・実る果実や野菜など利用者様が体験した内容や鑑賞した風景等をモチーフにした作品を作成する。色々な方法による共同での作品作りに1年間継続して取組む。その結果、日々のレクリエーション活動が充実し、利用者様の生活の活性化に繋がる。	①目標の実現方法を職員で検討する。 ②年間のスケジュールを作成する。 ③イベントで出かけた外出先の風景や敷地内で咲く花などを利用者様・職員で写真に収める。 ④月のレクリエーションの担当者が写真から選択した風景等を使って下絵を作成する(2か月に1つの作品を作る)。モア・ソレイユ各ユニットでそれぞれ下絵を準備する。 ・サイズは模造紙大とする。 ・具体的な内容について検討し、準備を行う(作品の内容・使用する材料等:例えば、ちぎり絵でお花見の風景を描く・ちぎる新聞紙やのり等の材料等)。	2ヶ月
				⑤個々の入居者の参加の状況を把握し評価等を行う。必要な改善を行う。 ・個々の能力が作品作りに活かせるよう配慮する。 ・日々の作品作りがレクリエーションそのものもや利用者の生活の活性化につながっているか確認する。 ⑥完成した作品はホーム内の廊下の壁など見やすい場所に掲示する。 ・雑誌(グループホーム協会機関誌)に投稿するなど作品が披露できるよう検討していく。 ・作品を家族に披露する。 ⑦家族や運営推進会議メンバーに新しい外出先やイベントの情報収集を行い作品作りに活かす。 ⑧運営推進会議で計画の進捗状況を報告する。	6ヶ月
				⑨一年間の取り組みを評価し、次回の目標について検討していく。好評だったものは継続して取り入れていく。 ⑩運営推進会議メンバー、入居者、家族に、成果等を報告する。	12か月